

# 平成28年度(平成27年実施)沖縄県公立学校教員候補者選考試験実施要項

## 沖縄県教育委員会

### 主なスケジュール(予定)

願書の受付 平成27年5月8日(金)～5月15日(金)

※インターネットでの書類作成は、平成27年4月24日(金)0時～5月13日(水)21時59分

第一次選考試験日 平成27年7月19日(日) 一次合格発表:平成27年8月中旬

第二次選考試験日 平成27年8月21日(金)～8月23日(日) 二次合格発表:平成27年9月上旬

(第三次選考試験日) 平成27年9月12日(土)～9月13日(日) 最終合格発表:平成27年10月下旬

※台風等で延期になる場合のスケジュールは、「15 暴風雨時等の対応(14ページ)」参照

主管課 沖縄県教育庁学校人事課(〒900-8571 沖縄県那覇市泉崎1-2-2 13階)

沖縄県公立学校(幼稚園及び大学を除く。以下同じ。)教員等の採用に当たり、次のとおり候補者選考試験を実施する。

### 1 選考で重視する視点

- 人間性豊かで、教育者としての使命感と児童生徒への深い愛情のある教員
- 教科等の専門的知識・技能を有し、実践的指導力のある教員
- 豊かな体験と幅広い教養を身につけようとする姿勢及び向上心があり、常に学び続ける教員
- 沖縄県の自然、歴史及び文化に誇りを持ち、国際社会、情報社会等に対応できる教員

### 2 試験に関する連絡

試験に関する連絡は、次のインターネット上のウェブページで行う。随時確認すること。

<http://www.pref.okinawa.jp/edu/jinji/saiyo/koritsu/index.html>

なお、暴風雨時の試験実施・延期等についてなど、緊急を要する連絡については次のアドレスでも行う(携帯電話対応)。右の二次元コードも利用できる。

<http://www.pref.okinawa.jp/edu/jinji/saiyo/koritsu/kinkyu.html>

また、試験について緊急の連絡がある場合は、番号098-866-2730から電話することがあるので、各自携帯電話等に登録し、着信があった場合は後刻折り返すこと。



### 3 募集校種・教科等

校種等	教科等	最終合格者見込み数
(1) 小学校教諭等		230名程度
(2) 中学校教諭等	国語、社会、数学、理科、保健体育、技術、英語	100名程度
(3) 高等学校教諭等	国語、地理歴史、公民、数学、理科(物理)、理科(化学)、理科(生物)、理科(地学)、保健体育、書道、英語、情報、農業、工業(機械)、工業(電気)、工業(工業化学)、商業、水産、福祉、家庭(調理)	60名程度
(4) 中学校・高等学校教諭等(共通)	音楽、美術、家庭	25名程度
(5) 特別支援学校小学部教諭等		25名程度
(6) 特別支援学校中学部・高等部教諭等(共通)	保健体育、音楽、美術	15名程度
(7) 養護教諭		10名程度

ア 高等学校教諭等「家庭(調理)」は、特別選考でのみ募集する。

イ 1人が受験できるのは、上記のうち1の校種等に限り、校種等の中にさらに教科等の区分がある場合は、そのうちの1の教科等に限る。

ウ 「教諭等」には、任用の期限を付さない常勤講師を含む。なお、日本国籍を有しない者を採用する場合には、任用

の期限を付さない常勤講師とする。

## 4 受験資格

次のすべてに当てはまる者とする。

- (1) 昭和45年4月2日以降に出生した者
- (2) 地方公務員法（昭和25年法律第261号）第16条及び学校教育法（昭和22年法律第26号）第9条の規定に該当しない者
- (3) 自力で通勤ができ、かつ、介助者なしに教員としての職務の遂行が可能な者
- (4) 活字印刷又は点字により出題される試験に対応できる者
- (5) 平成28年4月1日時点で有効な、受験する教科等の教育職員普通免許状（以下「免許状」という。）を取得している（平成28年3月31日までに取得見込みの場合を含む。以下同じ）者で、有効期限の更新又は更新講習修了確認をする必要がある場合、必要な手続を同日までに終えることができる者
  - ア 「3 募集校種・教科等（1ページ）」の(4)及び(6)の校種等については、中学校又は高等学校のどちらかの免許状のみで受験することができる。
  - イ 「3 募集校種・教科等（1ページ）」の(3)の「地理歴史」「公民」は、高等学校の「社会」の免許状で受験することができる。「水産」は、「商船」の免許状で受験することができる。(2)(3)(6)の「保健体育」は、「保健」の免許状では受験することができない。
  - ウ 「3 募集校種・教科等（1ページ）」の(5)特別支援小学部については小学校の免許状、(6)特別支援学校中学部・高等部教諭等（共通）については中学校又は高等学校の対応する教科の免許状のほか、1以上の領域における特別支援学校教諭免許状（盲・聾・養護学校教諭免許状を含む。）がなければならない。ただし、1以上の領域における特別支援学校教諭免許状を採用後5年以内に取得する意思があればよいものとする。

### ※地方公務員法（昭和25年法律第261号）抜粋

第十六条 次の各号の一に該当する者は、条例で定める場合を除くほか、職員となり、又は競争試験若しくは選考を受けることができない。

- 一 成年被後見人又は被保佐人
- 二 禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの者
- 三 当該地方公共団体において懲戒免職の処分を受け、当該処分の日から二年を経過しない者
- 四 人事委員会又は公平委員会の委員の職にあつて、第五章に規定する罪を犯し刑に処せられた者
- 五 日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者

### ※学校教育法（昭和22年法律第26号）抜粋

第九条 次の各号のいずれかに該当する者は、校長又は教員となることができない。

- 一 成年被後見人又は被保佐人
- 二 禁錮以上の刑に処せられた者
- 三 教育職員免許法第十条第一項第二号又は第三号に該当することにより免許状がその効力を失い、当該失効の日から三年を経過しない者
- 四 教育職員免許法第十一条第一項から第三項までの規定により免許状取上げの処分を受け、三年を経過しない者
- 五 日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者

## 5 選考の種類

「一般選考」「身体に障害のある者を対象とした特別選考」「スポーツ・芸術での技能や実績による特別選考」「特定の資格を有する者を対象とした特別選考」の4種類の選考を行う。

### (1) 一般選考

	校種・教科等	第一次試験 (7/19)	第二次試験 (8/21～8/23)	第三次試験 (9/12～9/13)
ア	小学校教諭等	・筆記試験 (一般教養、 教職教養及 び専門教科。 「英語」 及び「音楽」 では音声に よる出題を 含む。)	・適性検査 ・論文試験 ・模擬授業 ・個人面接 (英語含む) ・音楽実技 ・体育実技	
イ	中学校教諭等のうち「保健体育」、高等学校教諭等のうち「保健体育」「書道」「農業」及び「福祉」、中学校・高等学校教諭等 (共通) のすべての教科等		・実技試験	・適性検査 ・論文試験 ・模擬授業 ・個人面接
ウ	イを除く中学校教諭等、高等学校教諭等及び養護教諭		・適性検査 ・論文試験 ・模擬授業 ・個人面接 ・英語面接及び英作文 (「英語」受験者)	
エ	特別支援学校小学部教諭等		・音楽実技 ・体育実技 ・特別支援学校専門筆記	・適性検査 ・論文試験 ・模擬授業 ・個人面接
オ	特別支援学校中学部・高等部教諭等 (共通)		・実技試験 ・特別支援学校専門筆記	

### (2) 身体に障害のある者を対象とした特別選考

最終合格者見込み数	若干名 (一般選考試験の最終合格者見込み数に含む)
受験資格	「3 募集校種・教科等 (1ページ)」の(2)から(6)までのいずれかの校種・教科等を受験する者で、一般選考の受験資格に加え、身体障害者手帳の交付を受けており、その障害の程度が1級から6級までの者
提出書類	一般選考の出願書類に加えて「身体に障害のある者を対象とした特別選考申請書(様式1)」を提出すること。
留意事項	ア 試験は原則として一般選考と同様に行う。 イ 受験に際しての配慮を希望する者は、様式1の該当欄にその内容を記入すること。 ウ 本特別選考の受験資格を満たしていても、本特別選考を受験せず一般選考試験を受験することも可能である。

この特別選考試験を受験しない者で、受験に際しての配慮を希望する者は、沖縄県教育庁学校人事課 (電話：098-866-2730、FAX：098-866-2724) まで問い合わせること。

### (3) スポーツ・芸術での技能や実績による特別選考

最終合格者見込み数	若干名 (一般選考試験の最終合格者見込み数に含む)
受験資格	一般選考の受験資格に加え、次のア又はイの条件に該当する者 ア スポーツ分野 中学校教諭等「保健体育」又は高等学校教諭等「保健体育」を受験する者で、秀でた技能・実績を持ち、高等学校卒業後に国際的規模の競技会 (オリンピック、ワールドカップ、世界選手権、ユニバーシアード、アジア大会等) に日本代表として出場し、優秀な成績を収めた者やその指導者 イ 芸術分野 中学校・高等学校教諭等 (共通) の「音楽」又は「美術」を受験する者で、受験する教

	科に関連する分野において秀でた技能・実績を持ち、高等学校卒業後に国際レベルのコンクール、展覧会等で優秀な成績を収めた者やその指導者
提出書類	一般選考の出願書類に加えて、次のものを提出すること。 ア 「スポーツ・芸術での技能や実績による特別選考申請書（様式2-1）」 イ 「スポーツ・芸術での技能や実績による特別選考課題作文（様式2-2）」 ウ 国際的な競技会、コンクール、展覧会等に参加した証明書、大会要項の写し、大会結果の新聞記事、賞状の写し、競技他団体が発行する成績証明書等、実績を証明するもの。日本語以外の言語で記載されているものは、その日本語訳も添付すること。
留意事項	ア 審査の結果、特別選考に該当するか否かは7月上旬までに通知する。 イ 資格に該当すると認められた者は、第一次試験及び第二次試験を免除し、第三次試験を受験する。第三次試験の詳細については、一般選考試験の第二次試験合格通知と同時期に発送する。 ウ 資格に該当すると認められなかった者には、第一次試験の受験票を送付する。 エ この特別選考により第一次試験及び第二次試験の免除を受けられるのは、1回までとする。

#### (4) 特定の資格を有する者を対象とした特別選考(高等学校教諭等「家庭(調理)」)

最終合格者見込み数	若干名（一般選考試験の最終合格者見込み数に含まない）
受験資格	一般選考の受験資格に加え、次のアからイまでのすべてに該当する者 ア 高等学校の「家庭」の免許状を所持する者 イ 次の（ア）又は（イ）のいずれかに該当する者 （ア）専門調理師である者 （イ）調理師免許を有し、調理師免許取得後5年以上調理の業務又は調理実習について教育研究若しくは実地指導の経験を有する者 ※ 「調理の業務に従事した経験」とは専ら調理を行うことを業務としていたことを指し、「教育研究若しくは実地指導の経験」には調理師養成施設における教職歴を含む。
提出書類	一般選考の出願書類に加えて、次のものを提出すること。 ア 職務経歴書（様式3） イ 専門調理師又は調理師免許の資格を有することを示す書類の写し
留意事項	ア 特別選考に該当するか否かは7月上旬までに通知する。 イ 資格に該当すると認められた者は一般選考の第一次試験を受験し、第一次試験に合格した場合は第二次試験を免除して第三次試験を受験する。 ウ 資格に該当すると認められなかった者は一般選考の中学校・高等学校教諭等（共通）「家庭」を志願したものとする。 エ 本選考により採用された者の勤務地は、原則として調理師養成課程を有する高等学校とする。

## 6 第一次試験

### (1) 試験期日及び会場

試験期日	平成27年7月19日（日曜日）
試験会場	那覇市及びその周辺 ※那覇高校、那覇商業高校、小禄高校、豊見城高校、那覇国際高校及び那覇西高校を予定しているが、志願者数によりこれ以外の会場になる場合がある。具体的な会場名は受験票に記載して通知する。

## (2) 試験日程

ア 小学校教諭等及び特別支援学校小学部教諭等

時間	8:35～9:00	9:00～10:30	11:00～13:00
内容	諸注意	筆記試験 ・一般教養及び教職教養	筆記試験（専門教科） ・算数、外国語活動、社会、生活、総合的な学習の時間、 図画工作、家庭、国語、理科、音楽及び体育
所要時間	25分	90分	120分

イ アを除く校種・教科等

時間	8:35～9:00	9:00～10:30	11:00～12:50
内容	諸注意	筆記試験 ・一般教養及び教職教養	筆記試験 ・専門教科等
所要時間	25分	90分	110分

※会場の開門は7:45、各教室への入室は8:00からとする。

## (3) 試験の内容

試験は、マークシート方式による筆記試験で行う。

ア 一般教養は、自然科学、社会科学、人文科学等の分野から出題する。

イ 教職教養は、教育法規、教育原理、教育心理、学習指導、特別活動、道徳等の分野から出題する。

ウ 専門教科等は、各教科等の学習内容及び学習指導要領等から出題する。

(ア) 小学校教諭等の試験では中学校から高等学校程度の内容も出題範囲に含む。

(イ) 中学校教諭等の試験では高等学校程度の内容も出題範囲に含む、高等学校教諭等の試験では中学校程度の内容も出題範囲に含む。また、いずれも大学初級程度の内容を含む。

(ウ) 高等学校教諭等「地理歴史」は地理、日本史及び世界史の分野から、「公民」は倫理、政治・経済及び現代社会の分野から出題する。

(エ) 高等学校教諭等「理科（物理）」「理科（化学）」「理科（生物）」及び「理科（地学）」では、それぞれの分野に限らず理科全般からも出題する。「工業（機械）」、「工業（電気）」及び「工業（工業化学）」も同様とする。

## 7 第一次試験における一部試験免除・加点

次に該当する者に対しては、第一次試験の一般教養及び教職教養試験を免除し、専門教科等を課す。

### (1) 本県臨任等の経験を有する者を対象にした一部試験免除

免除を受ける資格	次のア及びイの両方を満たしていること。 ア 本県の国公立学校（県立、市町村立又は国立大学法人附属の小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校をいう。）における臨時的任用の教諭、助教諭、養護教諭、養護助教諭及び常勤講師並びに非常勤講師（以下「臨任等」という。）としての勤務経験を、平成20年4月から平成27年3月までの間に通算して60月以上有していること。ただし、非常勤講師の勤務経験は実際の勤務月数の8割として計算する。 イ 平成27年4月以降の臨任等経験として、次の（ア）又は（イ）のいずれかに該当すること。 （ア）平成27年4月から出願までの間に、本県の国公立学校での臨任等としての勤務経験があること。 （イ）平成27年4月から本県の公立学校での臨任等としての勤務を希望し、平成27年3月末日までに学校人事課又はいずれかの教育事務所にその旨の登録を行っていること。
提出書類	一般選考の出願書類に加えて、次のものを提出すること。なお、この一部試験免除を希望する者は、必ず電子申請で願書を作成しなければならない。 ア 対象となる期間の、臨任等として勤務したときの辞令、任用通知書、雇用契約書等のいずれかの写し イ 臨任等としての勤務の状況についての現任校又は前任校の校長の勤務状況報告書 （ア）免除を受けようとする者は、その旨を校長に申し出て、勤務状況報告書（様式4-1）の作成を依頼すること。 （イ）勤務状況報告書は校長が作成して平成27年7月31日までに提出すること。提出先は教育庁学校人事課とする。

	(ウ) 出願時に臨任等として勤務していない者は、前任校の校長に(ア)の依頼を行うこと。前任校の校長が退職している等依頼できない事情がある者は、その理由を記した理由書(様式4-2)を作成し、(イ)の締切までに学校人事課に郵送にて提出すること。
留意事項	<p>ア 辞令等の写しはA4版で作成すること。写しの右下端に受験する校種・教科等及び氏名を記入すること。</p> <p>イ 経験年数の数え方について  (ア) 1か月のうち、1日でも任用があった月は1月と数える。ただし、二重に計上することはできない。同一の月に非常勤講師とそれ以外の任用経験がある場合、非常勤講師以外としての経験があるものとみなす。  (イ) 経験月数は継続している必要はない。また、臨任等経験は受験する校種・教科等と同一である必要はない。  (ウ) 沖縄県教育委員会以外が任用した者である場合、臨任等と同等の職として発令され、又は契約し、単独で学習指導要領に定められた教科の授業を担当している者が該当する。  (エ) 沖縄県教育委員会以外が任用した者である場合、正規教員と比べて勤務時間が短いものは非常勤講師としての経験とみなす。  (オ) 学校事務職員、実習助手、指導員(英語、寄宿舎等)、支援員(学習、生徒指導等)、特別支援ヘルパー、サポーター、補助員、プール監視員等は該当しない。  (カ) 幼稚園、大学、高等専門学校、私立学校、職業能力開発校、農業大学校等は除く。特別支援学校幼稚部は含む。</p> <p>ウ 辞令等の写しを所持していない場合は、在職証明書(様式4-3)を提出すること。在職証明書発行者は、沖縄県教育委員会に任用された者で、勤務先が県立学校なら教育庁学校人事課、市町村立学校なら各教育事務所である。市町村教育委員会等に任用された者はその任用者である。</p> <p>エ 免除の可否は受験票に記載して通知する。</p> <p>オ 免除を受ける者は、第一次試験当日の10:00までに会場内の指定された場所に集合すること。会場内では試験が実施中であるため、静粛を保つこと。</p> <p>カ 免除を受けられなかった場合、通常の実験者と同様に一般教養及び教職教養試験を受験すること。</p> <p>キ 一部試験免除を受けた場合、一般教養及び教職教養試験の得点は、専門教科等の試験の得点率と同様として計算して合否を判定する。</p> <p>ク 提出された勤務状況報告書及び臨任等としての勤務の状況は、選考の際の資料とする。</p>

次の(2)から(4)までのいずれかに該当する者に対しては、第一次試験の得点に加点する。なお、複数に該当する場合、加点は最大で20点とし、加点の結果は満点を超えないものとする。

**(2) 特定の経験を有する者を対象にした加点(特別支援学校免許等)**

加点を受ける資格	出願の時点で有効な、1以上の領域における特別支援学校教諭普通免許状(盲・聾・養護学校普通免許状を含む。)を有していること。
提出書類	一般選考の出願書類に加えて、対象となる免許状の写しを添付すること。
留意事項	<p>ア 免許状の写しはA4版で作成すること。写しの右下端に受験する校種・教科等及び氏名を記入すること。</p> <p>イ 加点の可否は受験票に記載して通知する。</p> <p>ウ 該当する者は、免許の領域の種類や数にかかわらず、一次試験の専門教科試験の点数に10点を加点する。</p>

**(3) 特定の経験を有する者を対象にした加点(国際貢献活動)**

加点を受ける資格	青年海外協力隊その他のボランティア(独立行政法人国際協力機構が派遣するものに限る)として、海外に2年以上派遣された経験を有していること。
提出書類	一般選考の出願書類に加えて、独立行政法人国際協力機構青年海外協力隊事務局長が発行した派遣証明書を提出すること。
留意事項	<p>ア 加点の可否は受験票に記載して通知する。</p> <p>イ 該当する者は、一次試験の専門教科試験の点数に20点を加点する。</p>

(4) 特定の資格を有する者を対象にした加点(高等学校教諭等「水産」)

加点を受ける資格	高等学校教諭等「水産」を受験する者で、三級海技士（機関）の資格又はこれより上級の資格の海技士（機関）の資格を有していること。海技士（内燃機関）を含む。
提出書類	一般選考の出願書類に加えて、海技免状の写しを提出すること。
留意事項	ア 海技免状の写しはA4版で作成すること。写しの右下端に受験する校種・教科等及び氏名を記入すること。 イ 加点の可否は受験票に記載して通知する。 ウ 該当する者は、一次試験の専門教科試験の点数に20点を加点する。

**8 第二次試験**

(1) 試験期日・会場・試験内容

期日		1日目・8月21日（金）		2日目・8月22日（土）		3日目・8月23日（日）
会場（予定）		那覇高校		那覇高校 小禄高校 南部農林高校 奥武山陸上競技場・水泳プール 県立武道館		小禄高校
時間		午前	午後	午前	午後	終日
試験内容	小学校教諭等	・適性検査 ・論文試験	・音楽実技	・模擬授業	・個人面接	・体育実技
	「家庭」	・実技試験		/		/
	「保健体育」「農業」 「音楽」「美術」「福祉」及び「書道」	/				
	「英語」			・適性検査 ・論文試験 ・英作文	・英語面接	・個人面接
	上記以外の校種・教科等	・適性検査 ・論文試験	/		・個人面接	・模擬授業
	特別支援学校小学部教諭等	・特別支援学校専門筆記			・音楽実技	/
	特別支援学校中等部・高等部教諭等（共通）	・特別支援学校専門筆記	/		・実技試験	

(2) 実技試験で実施する内容

ア 小学校教諭等・特別支援学校小学部教諭等

(ア) 音楽 次のa及びbを行う。

試験内容	備考・注意事項
a オルガン（電動式） 「春の小川」又は「われは海の子」のうち1曲を選択し、オルガン伴奏で弾き歌いをする。	(a) 移調してよい。 (b) 伴奏は、既成の楽譜でも自主編曲でもよく、コードを利用した簡易伴奏でも可とする。楽譜は各自準備すること。
b ソプラノリコーダー 「冬げしき」（文科省唱歌、へ長調）の旋律を演奏する。	※楽譜及びソプラノリコーダーは各自準備すること。

(イ) 体育 次のa及びbを行う。

試験内容	備考・注意事項
a マット運動 ①倒立前転②前転③180度方向転換④開脚後転⑤後転⑥片足正面水平立ち⑦ロンダート（ポーズ）の連続技を行う。	体育館シューズは不要（はだし又は体操専用シューズを使用すること。）
b 水泳 平泳ぎで25mを泳ぐ。	水着は競泳用水着又はスクール水着とし、レジャー用の水着を着用しないこと。男女ともラッシュガードは禁止とし、すそは長くてもひざ上までとする。

注意事項：

- ① 身体上又は健康上の理由により体育実技試験を受験できないものは、当日朝の出欠確認時に申し出るとともに、診断書を提出すること。なお、追試験は行わない。
- ② 実技試験に必要な道具は、各自持参すること。
- ③ マット運動時の運動着には、「(4)注意事項（10ページ）」の要領でゼッケンを準備して装着すること。水着には装着しなくてよい。

イ 中学校教諭等「保健体育」、高等学校教諭等「保健体育」及び特別支援学校中学部・高等部教諭等（共通）「保健体育」次の(ア)から(エ)までを行う。

試験内容		備考・注意事項・準備するもの
(ア) 水泳 (必修)	25mプールを、往路はクロール、復路は平泳ぎで各25m、計50m泳ぐ。	※ターンは、クイック、タッチのどちらでもよい。 ※水着については小学校教諭等・特別支援学校小学部教諭等の水泳と同様とする。
(イ) 選択Ⅰ (1種目選択)	a 短距離走（100m） b 持久走（男子1500m、女子1000m） c 砲丸投げ（男子6.00Kg、女子4.00Kg）	種目に応じ、スパイクシューズを使用してよい。
(ウ) 選択Ⅱ (1種目選択)	a バスケットボール ①カットインシュート ②ジグザクドリブル ③ランニングシュート	体育館シューズ
	b ハンドボール ①パスキャッチ ②ジャンプシュート ③ポストシュート	体育館シューズ ※松ヤニは使用不可
	c サッカー ①ジグザクドリブル ②ジグザクドリブルからのシュート	サッカー用又は屋外用シューズ



	③ヘディングシュート	
	d バレーボール ①サーブ ②パス ③スパイク	体育館シューズ
	e バドミントン ①サーブ ②クリア ③スマッシュ	ラケット、体育館シューズ
	f 卓球 ①サーブ ②ドライブ ③スマッシュ	ラケット、体育館シューズ
(エ) 選択Ⅲ (1種目 選択)	a 柔道 ①受け身 ②かかり稽古 ③約束練習 ④固め技	柔道着
	b 剣道 ①正面打ち ②小手・面打ち ③面返し胴 ④打ち込み・切り返し	剣道着、防具、竹刀
	c 空手道 ①突き・蹴り ②上・中・下段受 ③形 ④打ち込み	空手着
	d 創作ダンス(課題曲は当日提示) 「走るー止まる」「伸びるー縮む」「走るー跳ぶー転がる」 「ひねるー回る」など、対極の性質を持つ動きの連続(ひと流れ)を使って、簡単なはじめと終わりをつけて小作品を踊る。(90秒間) ※表したいモチーフについて当日記入して提出する。	BGMを使用することができる。必要な者は、CD、MD又はカセットテープで音源を持参すること。持参した音源は、頭出し等が不要な状態にしておくこと。
	e 沖縄の踊り 「鳩間節」「かぎやで風」「貫花(武富節)」の中から当日指定された1曲を踊る。(2分間) ※インターネット上の沖縄県IT教育ポータルサイト ( <a href="https://www.open.ed.jp/">https://www.open.ed.jp/</a> ) →教育情報共有システム→学習教材→高等学校(普通)→保健体育→3ページ目にこれらの踊りの動画があるので参考にしよう。	音源は用意しているが、希望する者はCD、MD又はカセットテープで音源を持参すること。持参した音源は、頭出し等が不要な状態にしておくこと。

注意事項：

- ① 身体上又は健康上の理由により体育実技試験を受験できない者は、当日朝の全体説明及び実技開始前に試験本部又は試験官に申し出て「不受験届」を提出すること。特に、石から運動を禁止されている者は、診断書を提出すること。なお、追試験は行わない。
- ② 全ての種目において、実施できない技がある場合は無理をして行わないこと(部分的に行ってもよい)。
- ③ 実技試験に必要な道具、飲料、タオル等は、各自持参すること。
- ④ 陸上、球技の際は、運動着に「(4)注意事項(10ページ)」の要領でゼッケンを準備して装着すること。

ウ 中学校教諭等「英語」及び高等学校教諭等「英語」

英語による面接及び英作文(筆記)を行う。

エ 高等学校教諭等「書道」

- (ア) 内容 臨書(漢字、仮名)、創作、篆刻
- (イ) 準備するもの 書道用具全般、半紙、半切

オ 高等学校教諭等「農業」

- (ア) 内容：農業実習の基本
- (イ) 準備するもの：実習服、長靴、帽子、筆記用具

カ 高等学校教諭等「福祉」

- (ア) 内容：介護の基礎
- (イ) 準備するもの：運動着、上履き

キ 中学校・高等学校教諭等(共通)「音楽」、特別支援学校中学部・高等部教諭等(共通)「音楽」

次の(ア)から(ウ)までを行う。

試験内容	備考・注意事項
(ア) ピアノ バッハ作曲「2声のインベンションより第8番へ長調 BWV779」	① 演奏前の手慣らしは減点とする。音出しから演奏開始とする。 ② 楽譜は各自準備すること。
(イ) 声楽 次の曲を自らのピアノ伴奏で歌う。 「赤とんぼ」(三木露風作詞、山田耕筰作曲)	① 移調してよい。 ② 伴奏は、既成の楽譜でも自主編曲でもよく、コードを利用した簡易伴奏でも可とする。楽譜は各自準備すること。 ③ 当日前奏の一部省略を指示することがある。
(ウ) 歌三線 安波節を歌いながら演奏する。演奏は暗譜とし、歌詞は以下の部分とする。 「かりゆしぬあすいび(ハリ) うちはりていからや ゆぬあきていていだぬ(ハリ) あがるまでいまでいん」	① 三線等は各自で準備し、調弦(チューニング)は入室前に各自で行うこと。 ② 移調してよい。 ③ 演奏前の手慣らしは減点とする。音出しから演奏開始とする。

ク 中学校・高等学校教諭等(共通)「美術」、特別支援学校中学部・高等部教諭等(共通)「美術」

(ア) 内容 鉛筆デッサン及び平面表現

(イ) 準備するもの 着彩用具、製図用具(直定規、三角定規、コンパス、分度器等)、鉛筆(複数種類)、消しゴム

ケ 中学校・高等学校教諭等(共通)「家庭」 次の(ア)及び(イ)を行う。

(ア) 被服 被服製作の基本的技術(ミシン縫い、手縫い)

(イ) 食物 調理の基本的技術(身近な食品を用いた簡単な調理)

(ウ) 持参するもの ものさし、チャコ、糸切りばさみ、リッパー、ルレット、チャコペーパー、まち針、手縫い針、しつけ糸、裁ちばさみ、エプロン、三角巾(頭巾)、手ふき

※被服で使う布、調理で使う食物の材料及び調理道具は持参しなくてよい。

(3) 模擬授業について

授業の対象となる範囲・領域等については、第一次試験合格者に対して通知し、その中から実際に模擬授業を行う内容を当日指示する。

(4) 注意事項

ア 個人面接・模擬授業の時間の割り振りは、試験初日に掲示する。

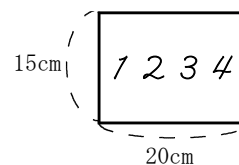
イ 屋外で行う試験のある日に雨天の場合は当日指示するので、予定された会場に集合すること。

ウ 小学校体育実技及び保健体育実技のゼッケンの作成・装着は次のとおり行うこと。

(ア) 白色の布に黒色のマジックで4けたの受験番号だけを大きく、はっきりと書くこと。

(イ) 運動着の胸の位置に、四隅をしっかりと糸で留めること。

エ 着替えをする場所に限りがあるので、実技試験のみを受験する日は、実技試験に適した服装で集合すること。



**9 第三次試験**

第三次試験は、「保健体育」「書道」「農業」「福祉」「音楽」「美術」及び「家庭」の教科等を希望する者、特別支援学校小学部教諭等を希望する者で第二次試験を受験した者に対して行う。

(1) 試験期日・会場・試験内容

期日	1日目・9月12日(土)	2日目・9月13日(日)	
会場	真和志高校(予定)		
時間	午前	午後	終日
試験内容	・適性検査 ・論文試験	・個人面接	・模擬授業

## (2) 模擬授業について

授業の対象となる範囲・領域等については、第二次試験合格者に対して通知し、その中から実際に模擬授業を行う内容を当日指示する。

## (3) 注意事項

個人面接・模擬授業の時間の割り振りは、試験初日に掲示する。

# 10 出願手続き

出願の方法には、「インターネットを利用して必要事項を入力し、提出する方法」「インターネットを利用して出願に必要な書類をダウンロードして印刷・記入し、提出する方法」「郵送で必要な書類を請求して記入し、提出する方法」の3種類がある。いずれの場合も、最後は郵送又は持参による提出が必要となるので注意すること。

## (1) インターネットを利用して必要事項を入力し、提出する方法

※インターネット接続、メールの送受信及び書類の印刷が可能なのは、できるだけこの方法で出願すること。

作業の流れ	ア 電子申請システム利用者IDの取得 → イ 電子申請による基本情報の入力 → ウ 必要書類の印刷 → エ 手書き記入事項の記入 → オ 書類の提出		
場所(URL)	<a href="https://www.e-tetsuzuki99.com/eap-jportal/MainMenu.do?lcd=470007">https://www.e-tetsuzuki99.com/eap-jportal/MainMenu.do?lcd=470007</a>		
入力期間	平成27年4月24日(金)0時～5月13日(水)21時59分		
必要な環境	ア インターネットのできるPC端末 イ プリンター ウ A4用紙(通常のコピー用紙。色つきの用紙や厚紙は使用しないこと) エ メールアドレス ※ 「pref.okinawa.lg.jp」のホスト名からのメールを受信できるように設定しておくこと。 ※ 受験願書・受験票等を印刷できる環境が必要になる。印刷できない場合は、(3)の方法により書類を取り寄せ、所定の項目を記入すること。		
方法	ア 電子申請システム利用者IDの取得 上記URLにアクセスし、「利用者IDの取得・変更」→「利用者IDを取得する」を選択し、利用者IDを取得する。取得したID及びパスワードは忘れないよう控えておくこと。 (控え) <table border="1" style="width: 100%;"><tr><td style="width: 50%;"><b>電子申請ID</b></td><td style="width: 50%;"><b>パスワード</b></td></tr></table> <p>注意事項：</p> <ol style="list-style-type: none"><li>① 昨年度取得した利用者IDを利用できる者は、新たに利用者IDを取得する必要はない。</li><li>② 上記のページは、「2 試験に関する連絡(1ページ)」に掲載したページからもリンクをたどることができる。</li><li>③ 利用者IDの取得にはメールアドレスを準備する必要がある。メールアドレスがない者は(2)又は(3)の方法で出願すること。</li></ol> イ 電子申請による基本情報の入力 アと同じページから「申請・届出をする」を選択し、左側の「分野選択」から「教育・学習」を選択して受験申込の申請を選択する。アで取得した電子申請ID及びパスワードの入力を求められるので、入力すること。 入力画面が表示されるので、指示に従って必要事項を記入すること。 注意事項： <ol style="list-style-type: none"><li>① 入力ページは、「2 試験に関する連絡(1ページ)」に掲載したページからもリンクをたどることができる。</li><li>② 入力開始から保存・送信せずに60分経過すると、それ以上手続きを進めることができなくなってしまうので、こまめに保存を行うこと。</li><li>③ 予期せぬシステムトラブルについての責任は一切負わない。申込終了後、登録されたメールアドレスあてに受信確認メール(利用者情報登録メールではない。)が送信されるので、よく確認すること。</li></ol> ウ 必要書類の印刷 入力が完了し、確認する画面で必要なファイルがダウンロードできるようになるので、各自のプリンタで印刷すること。書類は、一般的なコピー用紙等の白紙に印刷し、厚紙・色つきの紙には印刷しないこと。 印刷後、確認完了、送信を必ず行うこと。送信後、到達番号(20桁の数字)が表示されるので、次に控えておくこと。到達番号は、到達後に送信されるメールにも記載されている。	<b>電子申請ID</b>	<b>パスワード</b>
<b>電子申請ID</b>	<b>パスワード</b>		

(控え)						
到達番号	：	：	：	：	：	：
エ 手書き記入事項の記入 受験願書2枚目や、本人の署名欄などは手書きが必要なので、必要な部分を手書きで記入すること。また、写真貼り付け欄に写真を貼り付けること。						
オ 書類の提出 (4)に従って、書類を提出すること。						

(2) インターネットを利用して出願に必要な書類をダウンロードして手書きで印刷・記入し、提出する方法

ダウンロード可能期間	平成27年5月1日(金)正午から
方法	<p>ア 出願に必要な書類のダウンロード及び印刷 沖縄県教育委員会ウェブサイトにて、出願に必要な書類一式を掲載するので、ダウンロードし、各自のプリンタで印刷すること。書類は、一般的なコピー用紙等の白紙に印刷し、厚紙・色つきの紙には印刷しないこと。</p> <p>イ 書類の記入 記入要領に従って、出願に必要な書類の記入を行うこと。また、写真貼り付け欄に写真を貼り付けること。</p> <p>ウ 書類の提出 (4)に従って、書類を提出すること。</p>

(3) 郵送で必要な書類を請求して手書きで記入し、提出する方法

書類の返送期間	平成27年5月1日(金)以降順次
方法	<p>ア 出願に必要な書類の請求 次のあて先に、返信用封筒として、書類の送付先の住所・氏名(敬称は「様」か「殿」とすること)を記入して205円切手を貼り付けた角形2号封筒(縦33.2cm、横24cm)を送付すること。送付する封筒の表には「教員試験願書請求」と朱書きすること。 あて先： 〒900-8571 沖縄県那覇市泉崎1-2-2 沖縄県教育庁学校人事課</p> <p>注意事項： ① 書類は平成27年5月1日(金)以降、順次返送する。5月1日以降に到達したものについては、到達後1～2日(土・日・祝日を除く)で返送する。往復の郵送に要する日数を考慮し、余裕を持って請求すること。 ② 返信用封筒は折り曲げてよい。 ③ 返信に速達を希望する者は、必要な切手を追加で貼り付け、封筒上部に「速達」と朱書きすること。 ④ 教育庁学校人事課、各教育事務所、沖縄県県外事務所及び県内各大学での配布は行わない。</p> <p>イ 書類の記入 記入要領に従って、出願に必要な書類の記入を行うこと。また、写真貼り付け欄に写真を貼り付けること。</p> <p>ウ 書類の提出 (4)に従って、書類を提出すること。</p>

(4) 出願書類の提出方法((1)～(3)共通)

出願に必要な書類は、郵送又は持参により受け付ける。

提出する書類	電子申請で書類を作成する場合	受験願書、受験票、写真票、得点・順位通知用封筒(希望者のみ)
	手書きで書類を作成する場合	受験願書、受験票、写真票、電算入力用紙、得点・順位通知用封筒(希望者のみ)
	※特別選考、一部試験免除又は加点を希望する者	上記の書類に加え、それぞれ指定する様式の書類及び証明書
出願書類の整理方法	提出に必要な書類中「出願書類提出様式」を角形2号封筒(縦33.2cm、横24cm)に貼り	

	付け、受験校種・教科等、選考の種類、出願者の住所、氏名を記入し（既に記入されている場合は不要）、出願に必要な書類をすべてその中に入れて準備すること。持参の場合、封筒は封をしなくてよい。
提出方法	<p>ア 郵送による方法          用意した封筒を、<b>特定記録又は簡易書留で郵送すること。</b>          受付期間 <b>平成27年5月8日（金）～5月15日（金）※当日消印有効</b></p> <p>注意事項：          ① 特定記録又は簡易書留は郵便局の窓口でのみ引き受けており、ポストに投函することはできないので注意すること。          ② 特定記録又は簡易書留によらず送付した場合、出願を認めない。          ③ 出願最終日に郵送する場合には、特定記録又は簡易書留に加え、速達とすること。</p> <p>イ 直接持参による方法          (ア) 受付日時 <b>平成27年5月8日（金）9：00～17：00</b>（この日以外に提出する場合、アにより郵送すること。）          (イ) 受付場所 沖縄県教育庁会議室（沖縄県庁舎13階）</p>

## (5) 受験票の発送

受験票は、平成27年6月下旬をめどに発送する。ただし、特別選考を希望した者及び第一次試験の一部試験免除・加点を希望した者に対しては、平成27年7月上旬をめどに発送する。出願書類に不備がある者に対しては受験票を発送しない。

### 1 1 結果の通知

試験の結果は、次の期日までに発表する。ただし、試験が延期になった場合の合格発表日については、別途連絡する。

(1) 第一次試験の合格発表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・平成27年8月14日

(2) 第二次試験のうち、第三次試験を実施する教科等の合格発表・・・・・・・・平成27年9月4日

※特別支援学校小学部については、第二次試験と第三次試験の内容を一体として合否を判定するため、第二次試験の合格を発表しない。

(3) 最終合格発表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・平成27年10月30日

発表時には、県庁行政掲示板（沖縄県庁入り口外）及び県教育委員会のウェブサイトにも合格者の受験番号を掲載し、合格者には合格通知を送付する。合否に関する個別の問い合わせには応じない。

また、第一次試験では出願時、第二次・第三次試験では受験時に得点・順位の通知を希望し、返信用封筒を提出した者には、得点・順位を記した通知を結果発表後1週間以内に発送する。ただし、特別支援学校小学部の第二次試験の得点は、第三次試験の得点・順位とあわせて発送する。

### 1 2 教員候補者名簿への掲載

最終合格者は、平成28年度沖縄県公立学校教員候補者名簿（有効期間：平成28年4月1日～平成29年3月31日）に掲載する。

### 1 3 勤務条件等

#### (1) 勤務場所

採用されると、主に県内の公立小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校で教諭等又は養護教諭として勤務するほか、人事異動により教育事務所、教育委員会等に勤務することがある。また、取得している免許・資格等により、受験した校種・教科等と異なる校種・教科等を担当することがある。

**離島・へき地を含め県内のすべての学校現場等に配属になる可能性がある。**

#### (2) 給与・諸手当

平成27年4月1日現在の初任給月額、修士課程修了227,644円、大学卒205,404円、短大卒179,836円（いずれも教職調整額・教員特別手当を含む）で、経歴その他に応じてこの額以上となる。なお、現在公立学校教職員その他の公務員として勤務している者の初任給の号給は現在の号給より低くなる場合がある。

他に扶養手当、通勤手当、定時制通信教育手当、産業教育手当、期末・勤勉手当等が支給条件に応じて支給される。

#### (3) 主な勤務条件

勤務時間は1週間あたり38時間45分である。休日等は原則として土曜日・日曜日・国民の祝日、慰霊の日（6月23日）、年末年始（12月29日～1月3日）である。年次休暇が一年につき20日（初年度は15日）付与されるほか、産前産後休暇、育児休暇、育児休業、慶弔休暇、夏季休暇、介護休暇等がある。

#### (4) 主な福利厚生

採用されると公立学校共済組合による健康保険及び年金に加入する。

### 14 注意事項

#### (1) 出願・受験資格について

- ア 提出書類等は、記入要領を熟読の上、正確に入力・記入すること。
- イ 提出書類に虚偽又は不正の事実があった場合は受験を認めない。また、後日発覚した場合には合格後であっても合格及び採用を取り消す。
- ウ 教員免許状取得見込みで受験した者で、平成28年4月1日時点で有効な免許状を取得できなかった場合は、合格を取り消す。
- エ 受験願書の受理後は、受験校種・教科等の変更は受け付けない。
- オ 現に県外の学校若しくは県内の国立大学附属学校又は私立学校で本務の教諭等又は養護教諭として勤務する者で、沖縄県公立学校教諭等又は養護教諭になることを希望する者は、この試験を受験すること。

#### (2) 試験について

- ア 試験実施期間中における受験者及び試験係員以外の者の許可なき会場立ち入りを固く禁ずる。
- イ 試験全体を通じて、特別の許可がある場合を除き、**試験会場内への車の乗り入れ、送迎のための会場内での車の乗り降りは禁止する**。周辺での乗り降りについても、近隣の迷惑にならないよう注意すること。
- ウ 試験会場周辺への路上駐車、近隣施設への無断・迷惑駐車を禁ずる。特に、試験終了時に迎えの車を近くで待機させることは、近隣の迷惑になるので固く禁ずる。
- エ 筆記試験、適性検査及び論文試験の持ち物は次のとおりとする。

(ア) すべての受験者	受験票、黒鉛筆（HB又はB）、消しゴム
(イ) 「商業」の受験者	(ア) に加え、そろばん又は電卓
(ウ) 「工業（機械）」「工業（電気）」又は「水産」の受験者	(ア) に加え、電卓（関数機能付きのもの）
上記のほかに、試験時間中に机の上に置けるものは、シャープペンシル、鉛筆削り（手動、小型のもの。ナイフ不可）、時計（辞書や電卓等の機能があるものや音が出るものは不可。小型のものに限る。）、眼鏡、目薬、タオル、ハンカチ、ティッシュペーパー（携帯用のもの）に限る。	

- オ 試験当日、受験生は会場内では携帯電話の電源を切ること。また、試験会場内で録音・録画・撮影・通信・通話等が可能な電子機器を使用することを禁ずる。
- カ 試験会場内及びその周辺はすべて禁煙とする。
- キ 試験会場に出たゴミは持ち帰ること。
- ク 試験中のけが等について、会場では応急処置のみを行うので、各自、万一の事態に備えるほか、必要に応じて保険に加入するなどの準備を行うこと。

#### (3) その他

- ア 実施要項に関する事、電子申請に関する事その他試験に関する問い合わせは、受験する本人が直接行うこと。ただし、実施前の試験内容に関する事及び可否に関する事についての問い合わせには一切応じない。
- イ すべての合否判定において、試験科目のうち著しく低い点数の科目がある者は、その他の科目の点数にかかわらず不合格とすることがある。

### 15 暴風雨時等の対応

台風等、暴風雨時の試験実施については、原則として次のとおりとする。なお、試験前や試験当日試験の実施に変更が生じる場合には、「2 試験に関する連絡」(1ページ)のウェブページで連絡するので、各自参照すること。台風以外の災害発生時も同様とする。電話での問い合わせは事務に支障が生じるため行わないこと。

- (1) 暴風警報等発令中でも、当日朝、バスが始発から運行している場合は、試験を実施する。
- (2) 試験開始後、バスが運行停止になった場合、別途指示する。
- (3) 暴風警報等が発令され、バスが始発から運行停止になった場合、その日の試験は行わず延期する。
- (4) 第一次試験を予定している7月20日（日曜日）に試験を行わなかった場合、第一次試験、第二次試験及び第三次試験は、以下の期日に日程を変更する。
  - ア 第一次試験……7月26日（日曜日）
  - イ 第二次試験……8月30日（日曜日）・9月5日（土曜日）・9月6日（日曜日）
  - ウ 第三次試験……10月3日（土曜日）・10月4日（日曜日）

## 16 試験問題の公表

試験問題及び正答は、試験終了後10日以内に、沖縄県行政情報センター（沖縄県庁2階）、沖縄県宮古事務所及び八重山事務所の行政情報コーナーにおいて公開する。第一次試験の一般教養及び教職教養試験問題並びにすべての教科の正答は、沖縄県教育委員会のウェブサイトでも公開する。

過年度の試験問題についても同様に公開しており、行政情報センター、行政情報コーナーでは実費で複写することもできる。公開の時間、複写の方法等については沖縄県行政情報センター（電話：098-866-2139）に問い合わせること。

### 参考：平成27年度 新規採用状況

教科等	小学校	中学校										高等学校			
		国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保体	家庭	英語	技術	国語	地歴	公民	数学
採用者数	221	15	14	12	15	6	1	12	3	13	1	9	1	2	12

教科等	高等学校														
	物理	化学	生物	地学	保体	音楽	美術	書道	英語	家庭	情報	農業	機械	電気	情報技術
採用者数	1	3	3	1	8	4	4	1	8	2	2	1	2	1	1

教科等	高等学校			特別支援学校 小学部	特別支援学校中学部・高等部								養護教諭
	商業	水産	福祉		国語	数学	機械	農業	保体	音楽	美術	技術	
採用者数	2	1	1	26	1	5	1	2	9	4	6	2	16